

科目名	金沢の文学			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	金沢学院短期大学で確認			
	英文科目名	Literature of Kanazawa		モバイル配信授業 —	開講時間	金沢学院短期大学で確認			
受講定員等	担当教員	寺田 達也		eラーニング —	開講場所	金沢学院短期大学で確認			
	単位数	2単位		成績評価の方法	講義への参加度，レポート等の総合評価。 態度・取り組み（30%）， 課題（30%）， レポート（40%）				
定員数	50名								
特別聴講学生等定員	5名								
科目等履修生定員	5名								
	シティカレッジ聴講生定員								
	定員超過時の選考方法等			受付順					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢学院短期大学で確認				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
					10,000円	35,000円	32,000円		10,000円
科目の内容	【講義内容】 明治20年代以降，金沢からは多くの文学者が輩出した。金沢出身の作家はもとより，旧制第四高等学校で学んだ著名な作家も少なくない。詩人を育む美しい風土に加えて，小説家の豊かな想像力を生む歴史と文化の蓄積も大きく関連している。 この講義では，三文豪（鏡花・秋声・犀星）をはじめとする金沢出身の作家や，金沢を舞台にした作品を採り上げて，文学の魅力と奥深さを知り，金沢の文化・文学を捉え直すことが目的である。 具体的には，泉鏡花，徳田秋声，室生犀星の文学活動の概略や代表作，また唯川恵「川面を滑る風」や五木寛之「朱鷺の墓」，島田清次郎「地上」，中野重治「歌のわかれ」，井上靖「北の海」，三島由紀夫「美しい星」，古井由吉「雪の下」の蟹」，高樹のぶ子「百年の預言」，そして竹久夢二や中原中也，沢木欣一などの詩・短歌・俳句など，金沢を舞台とした文学作品の数々を扱う予定である。							その他特記事項	
	【テキスト】 適宜プリントを配布するが，各回で扱う作品のテキストは，各自で読んでおくことが望ましい。扱う作品を原作とした文芸映画や，ドキュメンタリー等の映像を扱う場合もある。								
授業担当教員紹介			URL	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/college/teacher/preschool-terada					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	terada@kanazawa-gu.ac.jp					